

白杵市 施策評価シート

(令和5年度)

評価 担当課	課名 産業観光課
-----------	-------------

コード	IV-10-18	施策名	雇用の確保・就労支援
まちづくりの 目標	魅力ある資源を市民が創り活かし、人が集まりにぎわうまち(産業・観光)	施策の方針	社会経済を潤す
5年後の めざす姿	若者や高齢者の雇用の場が確保されるとともに、起業による新たな雇用も創出します。地場産業の設備投資への支援や基幹産業の技術伝承者育成のほか、創業支援により、雇用機会の拡大をめざします。		
施策の課題	新規創業は、個人事業者が多く、雇用数が限定的となっています。今後、さらなる雇用の場確保のため、地場企業の設備投資や新規雇用の支援など、法人向けの支援を強化する必要があります。		

< 施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次白杵市総合計画 後期基本計画 >

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移						
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	企業立地促進条例による雇用者数【累計】	企業立地促進条例を活用した新規雇用者数	目標	人	56	59	62	65	67
			実績	53	56	57	59	62	
			達成率	%	100.0%	96.6%	95.2%	95.4%	
	新規創業による件数(年間)	創業支援事業等による新規創業件数	目標	件	5	5	8	8	10
			実績	5	3	3	5	7	
			達成率	%	60.0%	60.0%	62.5%	87.5%	
	シルバー人材センター会員数	会員数	目標	人	416	416	417	417	418
			実績	402	415	417	393	400	
			達成率	%	99.8%	100.2%	94.2%	95.9%	
	空き店舗対策事業による雇用者数(年間)	空き店舗対策事業を活用し雇用に至った人数	目標	人	10	10	10	10	10
			実績	2	8	7	0	6	
			達成率	%	80.0%	70.0%	0%	60.0%	
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
指標の 進捗状況	やや遅延	指標の分析	企業立地条例や空き店舗対策事業による新規雇用者数や、創業支援事業等による新規創業件数は、目標に達していませんが着実に増加しています。シルバー人材センターの会員数は、民間企業などの退職年齢の引き上げなどにより伸び悩んでいます。						
		指標達成に向け今後の流れ	県や商工団体など関係機関と連携し、本市の助成制度の周知を行っていきます。雇用問題協議会や若年労働力確保対策協議会と関係機関が連携し、地場企業情報や求人情報などの発信を行うとともに、雇用環境の整備と支援策を行うことで、企業の地元雇用を促し、若者の地元への定着を図ります。						

< 市民意識調査結果 R6実施結果 >

領域名	必要度	満足度	満足度 2.30	見直し領域	向上領域	全体平均	検討領域	全体平均	強化領域	必要度 2.70
強化領域	2.64	1.78								
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域		浸透度 83.24%								
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度							
	強化領域	強化領域	強化領域							

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度	
1 (公益社団法人)臼津地域シルバー人材センター補助金	高齢者の経験や知識を活かした就労機会を確保・援助をしていく事業へ補助を行います。	産業観光課	8,830	8,666	無	—	—	—	
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計			8,830	8,666	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

<次年度以降の課題>

雇用の場の確保のため、市内外の企業に対し、県や商工団体など関係機関と連携し、本市の助成制度のさらなる周知を行っていきます。退職年齢の引き上げや社会全体の労働力不足が顕在化しており、シルバー人材センター会員確保は厳しいことが想定されますが、高齢者の経験や知識を活かした就労機会を確保するためにも、毎月1回の「入会説明会」や女性会員の勧誘を強化し、今後も会員募集を継続して行う必要があります。

施策の評価（今後の施策の方向性）

- 評価の選択肢 ○ 向上 … 現状の通り維持向上する ○ 強化… 現状より強化を図る
 ○ 見直し … 現状を見直し適正化を図る ○ 検討… 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>…評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
向上	本市の基幹産業や雇用に関する情報をUターンフェアなどでも周知していくとともに、継続して地元企業へ支援を行い、雇用の創出を図っていきます。